

平成29年度 第3回 斐伊川水系大規模氾濫時の減災対策協議会 及び  
平成29年度 第3回 斐伊川水系中海沿岸の大規模水害に関する減災対策協議会 メモ

○日時 平成29年5月23日（火）14：00～16：00

○場所 島根県松江市 島根県民会館 大会議室

○出席者 以下のとおり（委員のみ記載）

(1) 斐伊川水系大規模氾濫時の減災対策協議会

松江市長（代理：副市長）

出雲市長

雲南市長（代理：総務部 統括危機管理監）

島根県 防災部長

島根県 土木部長

気象庁 松江地方気象台長

国土交通省 松江国道事務所長（代理：管理第一課長）

国土交通省 出雲河川事務所長

(2) 斐伊川水系中海沿岸の大規模水害に関する減災対策協議会

米子市長（代理：建設部長）

境港市長（代理：建設部長）

松江市長（代理：副市長）

安来市長（代理：副市長）

鳥取県 危機管理局長（代理：危機管理局 副局長）

鳥取県 西部総合事務所米子県土整備局長

島根県 防災部長

島根県 松江県土整備事務所長

気象庁 松江地方気象台長

国土交通省 出雲河川事務所長

○挨拶 出雲河川事務所長

○議事

(1) 幹事会の報告について

(2) 「斐伊川流域の減災に係る取組方針」及び「斐伊川水系中海沿岸の減災に係る取組方針」に基づく取組の進捗状況の確認について

(3) その他

○質疑応答

【松江市】

災害時の情報伝達について、外国人観光客などへ向けた情報伝達はどう考えているか。

【出雲河川】

昨年作成した「取組方針」に外国人観光客などへの防災情報の伝達という項目はありませんが、定住外国人等を対象とした避難情報の提供という取組項目を設定しており、まずは定住外国人等を対象として取組を進めつつ、今後どういう形で進めていくか検討してまいりたい。

【島根県防災部長】

5月から始まるプッシュ型配信について、①島根県内の対象エリアはどこか②洪水情報はどんな段階で発信されるのか③配信した実績はあるか。

【出雲河川】

①いま手元に対象エリアの表を持っていないが、国管理の洪水予報河川が対象になる②避難勧告や避難指示の元になる水位で発信することになる③今月始まったばかりであり、実績は無い。

【米子市】

高潮発生時のシミュレーションを実施公表されるとのことだが、どんな洪水を対象に考えているか。

【出雲河川】

計画規模の洪水を対象に検討している。

【出雲市長】

昨年、想定最大規模の降雨による洪水浸水想定区域が公表されたが、地域の皆さんにとっては衝撃的な話しであった。市内全体が水没してしまう状況で、特に堤防直下にお住まいの皆さんにとっては垂直避難も出来ず、山に避難しろといってもそこは土砂災害の可能性もある。避難先が想定できない中で、我々行政としては、実際の浸水状況を踏まえたより具体的な情報提供をできるようにしないと、住民の皆さんの不安解消にならない。今後、この協議会を通じてより踏み込んだ形で一緒に考えていきたい。

また、斐伊川3点セットの早期完成に向け、その時期についてもこうした会議を通じて教えていただきたい。

さらに、斐伊川放水路が完成してから分水したのはこれまでに3回、計画規模に近い洪水の際に上手く機能するのか気になるところ。

【出雲河川】

地域のより踏み込んだ情報提供ができるよう協議会で一緒に考えていきたい。

斐伊川3点セットの進捗については、大橋川改修、中海湖岸堤整備を進めているところであり、引き続き確実に推進してまいりたい。

放水路については、過去4回の稼働実績がある。我々としてはしっかりと管理して適切に運用してまいりたい。

#### 【安来市】

市や県の管理する河川については、ハード整備が脆弱で整備が進んでいないというのが現状。中小河川の整備を促進する制度設計をお願いしたい。

また、国の CCTV 情報は大変有用であると考えており、今後の中海の整備の考え方について教えていただきたい。

#### 【出雲河川】

ハード整備でしっかり対応できるよう精度設計してほしいというご意見があったことは上部機関等に伝えて共有してまいります。ハード整備では追いつかない部分について、中海協議会では「住民の防災意識向上」「浸水被害の最小化」を目標としており、引き続き協議会のメンバーが連携して取組を進めてまいりたい。

CCTV 整備について、中海では中海(出)、大橋川、境水道の3箇所を設置しており、今後増設する方向で検討してまいりたい。

○出雲河川事務所長より「トップセミナー」紹介

○気象台より「防災気象情報改善の取組」、「地球温暖化予測情報第9巻」について紹介